

事例 太陽光発電

「雪国でも発電できた」

お話を聞きした人

藤原 誉さん / 田歌舎

南丹市美山町

設置してよかったこと

最初にこの土地で発電量をきちんと調べていただきました。そして想定していた以上の発電があったので満足です。

積雪が気になる冬期の発電について

太陽光パネルは雪が滑り落ちて、そんなに積もりません。だから地面に直接パネルだけで設置してあるところは、パネルの上に雪が積もって困るということはほとんどありません。屋根の上に設置したものは積もります。屋根に積もった雪がストッパーの役目をして落ちてきません。それでも晴れの日が2日間続けば、雪が緩んで太陽光パネルのところだけ落ちます。

屋根の雪を落とせばもっと発電するのですが、そこまでしようとは思っていません。最初からそのつもりでしたから。

これは残念、電圧上昇抑制機能

電圧上昇抑制機能が付いているため、たくさん発電しても使われずに無駄になってしまう。これは残念だと思った。関西電力の電線を使用しているため、電圧が上限（107V）に達すると一時的に販売電力量が減少する仕組みになっている。なのでいちばん発電している時に、発電できた全てを売電できない、有効に使えないのが残念でならない。せっかく発電できているのにもったいない。

取材後記 ■ 水野 奈美

ここ南丹市美山町の知井地区は豪雪地です。住民の多くが積雪と日照不足を理由に太陽光発電は無理と思っているところ（私もそう思っていました）。そこで私の家よりもっと雪深いところで太陽光発電パネルを設置すると聞いて、正直驚きました。藤原さんは3.11の大きな災害を目の当たりにして自然エネルギーの推進の必要性を痛切に感じ、自分たちにもできることを、できるだけ効果の大きなもので一步を踏み出していこうと考えて設置されました。設置されて一年の田歌舎ですが、雪の量としては多くもなく、少なくともなかった冬で、データとしてはちょうどよかったと思いました。わざと屋根の雪を落として発電さすわけでもなく、自然体でそのままの状態に太陽光の恵みを受けている姿がステキだなと思いました。

詳細情報

【機器の種類】

メーカー：ソーラーフロンティア / 型式：SPC5503 / 購入年：2012年

【設置したパネルの規模 (kW)】

10.05kW

【設置にかかったコスト】

総額約 400万円

※認定NPO法人きょうとグリーンファンドの「お日さま発電」として設置

【最大発電月と発電量】

5月 1363kWh

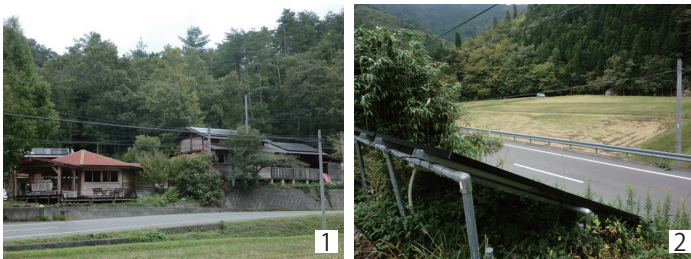
【最低発電月と発電量】

2月 223kWh

【直近1年間の総発電量】

総発電量 約 9600 kWh

業者見積発電量は 8800kWh



- 1) 田歌舎
- 2) パネルのみの設置
- 3) 手作りのお米